

# 世界に挑む中学1年 戦え、ボクのロボット！ ロボカップ世界第2位



石田裕太郎 君 (12)  
〈豊岡市日高町〉

但馬人 ◆ 交差点

自作ロボットの性能を競い合う大会「ロボカップ」。そのジュニア部門レスキューチャレンジで、世界第2位の栄冠に輝いた但馬の中学生がいる。豊岡市日高町に住む石田裕太郎君は、平成17年7月、昨年から夢見ていた世界大会への出場を果たした。そして、見事世界第2位という素晴らしい成績を収めた。この種目は、技術点の高さとゴールまでのタイムで勝敗が決まる。世界一との差は、わずかに17秒。負けはしたが、その表情はとても明るい。大会の感想は？と聞くと、「5日間ロボットを触っていられたのが、たのしかったなあ」と、屈託のない笑顔をのぞかせた。ロボットいじりが大好きな少年だ。

石田君とロボットの出会いは、兄のお古のレゴブロック。部品を様々に組み合わせ、建物や車、自主自動型のロボットなども作れるおもちゃだ。単なる子供のおもちゃと侮るなかれ。遊びながら、段階的に工学知識を学べる優れたもの。テコの原理や歯車の仕組みなどを基礎に、石田君が作っているような、パソコンでプログラムした操作指示に従って動作するロボットなども製作できる。

ロボットの動きを見れば、どんなプログラムなのかを推測できるという石田君。市内のロボット製作教室「たまらつく」に通い、楽しみながら、考える力と問題解決力を身につけてきた。教室へ通い始めたのは、平成14年秋、但馬空港で開催されたロボットのイベントがきっかけ。

高専の学生が走る車型ロボットに「ボクもあんなメカ作りしたい！」と魅せられた。小学4年生の時だ。教室へは、市内は



パソコンを前に、自分の作ったプログラムと向き合う子供たち。その姿は、真剣そのもの。小さなメカニックたちが世界へ挑む。

そして「次こそ、世界一！」と強く誓う。ロボカップジュニア北近畿地区予選は、2月に養父市で、世界大会は7月ドイツで開催される。未来を担う但馬の若い力、思いつきり世界へ羽ばたけ！

もちろん、大屋、浜坂など遠方からもロボットに興味のある子供たちが通ってくる。石田君は「身近にはメカの話で熱くなれる子が少ないし、大会は大阪や東京。もつと近くで、色んなメカとボクのを競わせてみたい」と地元での大会開催に期待を寄せる。昨年は、但馬の小学生としては初の日本大会出場を果たし5位入賞、今年はさらに好成績の3位となり、世界大会の出場権を獲得した。世界大会では予選を1位で通過。ライバルらに注目されたプログラムは、最終競技会では、優勝チーム(濠)のロボットにも採用された。悔しいけれど、誇らしい準優勝。今回の弱点は克服した。次は、仲間と出場する「FLL」。頭の中は、更なる改良案でいっぱいだ。

・FLL:世界最大規模の国際ロボット競技会のひとつ

## 街を彩る。

伝えたいイメージを的確に伝える多彩な演出。  
今、街がメディアに変わる。

【施工例】



ラッピングバス

詳しいお問い合わせ・お申し込みは

Quick Quality Cost  
group 岩見印刷株式会社

【本社・IPメディアテクノロジーズ】  
兵庫県豊岡市日高町土居67-1 TEL.0796-42-1200 (代)  
【ホームページ】http://www.iwami-hidaka.co.jp  
【e-mail】info@iwami-hidaka.co.jp  
【福知山支店】TEL.0773-23-4002 (代) 【神戸支店】TEL.078-291-6600  
【京都営業所】TEL.075-865-2977 【東京営業所】TEL.03-3237-7583

写真やイラストなどのフルカラー原稿を忠実に再現。あらゆる景観装飾に対応する美しいグラフィックス展開を実現します。

# IMAGE GRAPHICS

しんと冷えた冬の夜、輝く星空に足をとめて

# 天体観望のすすめ

街を彩るネオンがなくても、見上げればいつばいに広がる星空を誇りに思いたい。

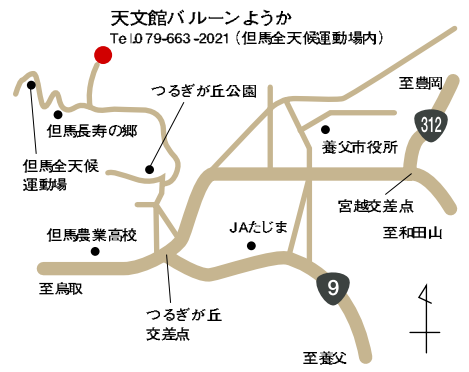
夜が暗闇に覆われるのはとても貴重なこと。但馬の星空は昨年の夏、環境省によるスターウォッチングの調査で、全国1位に輝いた。星を見る最適の環境が、但馬には残っている。冬は空気が澄み、星空が特にきれいに見える季節。晴れた日の夜に、

天体観望に出かけてみよう。

養父市の「天文館バルーンようか」は、大型の望遠鏡が利用できる全国でも数少ない天文館。2つのドームには、主に惑星の観測をする20センチ屈折望遠鏡と、星雲や星団などを見る40センチ反射望遠鏡が設置されている。150億光年彼方から届く光まで観測できるという設備だ。

楳田系に渦巻き、ぼんやりと巨大な光を放つアンドロメダ銀河。オレンジ色に輝く火星は黒い模様までしっかり見える。そして、月のクレターは驚くほど鮮明で、オペレーターの飯田さん曰く、気分は月面探検。リモコン操作で角度を変えながらレンズを覗くと、まるで月面を歩いているよう。ぜひ体感してみたい。

ところで、皆さんは天の川を見たことがあるだろうか。ぼんやりとガスに覆われたような天の川は、見慣れないと気付かない人も多い。「八鹿ぼしを見つけようかい」の西岡さんにこんなお話をきいた。



「都会から天の川を撮影しに訪れたカメラマンが雲が晴れるのを待っていました。あの雲さえよけたら天の川が見えるのに、そう思った雲が実は天の川だったんです。」

山の頂にある天文館からは、暗闇に目を慣らせば肉眼でも簡単に天の川を見られるそう。望遠鏡でじっくり星を観測した後、改めて夜空を見上げると、目の前に迫る星の明るさに、一層の感動を覚えるだろう。

## ■天文館バルーンようか

一般200円(1時間以上の場合400円)、小・中学生半額、幼児無料 開館午前9時〜午後11時(入館は午後9時まで) 火曜定休

★2006年1月18日〜31日まで「冬のスターウォッチング」が但馬各所で開催。天文館バルーンようかは内4日間、星の説明を聞きながら、すばるやオリオン座を観測しよう!



1.青白い光を放つ星団「すばる」 2.星が誕生する現場「オリオン座人星雲」の中心部には生まれたての星が 3.約230万光年離れた「アンドロメダ銀河」は天の川銀河より一回り大きい

## こだわりのきもの屋



## 心に響く着物との出会いを...

小物で「四季」を表現できます  
当店はTPOに合わせた着物、帯、小物合わせから着付けまで、トータルでお手伝い致します。

KIMONO SALON KEITANI  
きものサロン けいたに  
フリーダイヤル 0120-529-008  
〒668-0084 兵庫県豊岡市福田1887-1  
電話 0796 (24) 9239 番  
FAX 0796 (24) 0185 番  
E-mail : kimonosalon@nkansai.net

